

# ハロー フレンズ



2023年5月号(年3回発行) 第162号

## FICEC設立25周年、 これからも会員の皆さんと歩みます

今、埼玉県で生活する外国籍住民は20万人を超え、ふじみ野市、富士見市、三芳町で約7,000人となります。人口の3%が外国籍住民ということになり今後も増加すると思われます。

FICECは外国人支援を目的に1998年4月に任意団体として設立され、会員の皆様のご支援とご協力を頂く中、本年4月に25周年の節目を迎えました。FICECは2000年1月にNPO法人として認証を受け、市民による活動団体として、2013年には国の認定、埼玉県の指定を受けました。

この間、ふじみ野市、富士見市、三芳町との協働をベースにした多言語の翻訳・通訳、国際交流を行ってきました。

更に、FICECは生活相談、成人向けの日本語教室、小中高生を対象とした国際子どもクラブの活動を進めてきました。これらの活動を通して支援した外国人は2012年度から2021年度の10年間で延19,000人になりました。

2021年10月、FICECは外国人支援を目的としたフードバンク事業を本格化させ、生活向上のサポートをスタートしました。新型コロナの影響で中断していた国際交流活動として「Café FICEC」の試みも順調です。

また、FICECの設立と同時に創刊された多言語情報紙「インフォメーションふじみの」は本年5月には257号を数えます。四半世紀を刻むこの多言語情報紙は、それぞれの時期において外国籍住民と日本人住民の共生の課題を提起し、世相を反映してきました。

今年度、ふじみ野市の地域コミュニティ事業として、「多言語情報紙『インフォメーションふじみの』にみる外国人支援25年の歴史展」を開催することになりました。会員の皆様と共にFICECの歴史を振り返り、30周年に向けてのスタートとしたいと思います。

(事務局長 永田信雄)



国際子どもクラブで勉強する外国ルーツのこどもたち

## 日本語教室アンケート

日本語教室は週に2回、色々な国出身の人が、勉強に来ます。来日したばかりで全然日本語がわからない人、日本語能力試験を受けたい人、日本人の友人を作りたい人など、目的もさまざまです。今回「どのような人が日本語教室に来るのか」を紹介したいと思い、アンケートを作成しました。

結果的に学習者は、日本のエンタメや食に親しんでいることがよくわかり興味深かったです。(最後に日本食を食べたい、と思うのでしょうか?)

日本語教室として、これからイベントの開催を通じて、日本の文化を楽しみながら学ぶなどの機会もあったら良いと感じました。

### ●どこから来ましたか？

アメリカ 2名/ベトナム 2名/スリランカ 1名/カメルーン 1名/フィリピン 2名/メキシコ 3名/パキスタン 1名/中国 3名/ミャンマー 1名 (計16名)

### ●日本に来た理由は何ですか？

家族と一緒に暮らすために 3名/日本で息子を育てたい/仕事のため 4名/農業研修/日本人と結婚して家族ができたから/家族のためと日本の文化が好きだから/家族で仕事をしている/奥さんが日本人/歳をとり、日本にいる一人娘と一緒に暮らすため/日本が好き/進学と仕事/日本に住みたかった

### ●日本語を勉強する目的は何ですか？

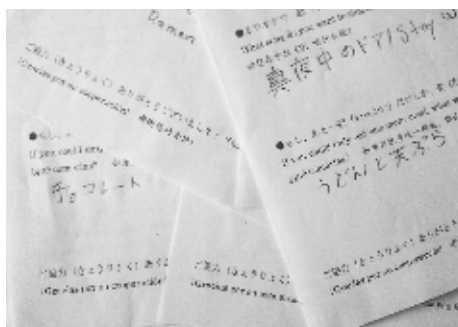
日本を歩き回るために/仕事のため 2名/この国と人々について学び、社会に適応し役立つため/仕事と日常生活に必要な 2名/良いビザを取得するため/介護の仕事で使う 2名/日本の文化を楽しむため/社交的になって、たくさんの人に出会う事ができるから/良い暮らしのため/これからの日本での生活のために 2名/日常会話がうまくなりしたい/日本人と話す/知識を増やし、人と話すため

### ●カラオケで歌いたい曲は何ですか？

ありません/できません/行きません/人前で歌いたくない/何も歌いたくない/どんな曲でも/日本の歌とスリランカの歌/「さくらの歌」by KANA-BOON/「パーフェクト」by エド シーラン/ラブソングス/演歌/「ハピネス」by 嵐/「バタフライ〜デジモンアドベンチャーOP」by 和田光司/「私は最強」by Ado/「真夜中のドア〜 Stay with me」by 松原みき/「北国之春」、「星(「昴」の中国名)」、「時のすぎゆくまに」by 沢田研二

### ●もし、あと一回だけしか、食べられないとしたら、何を食べますか？

なんでもいい/焼き鳥盛合せ、全部塩で/陝西麺と肉まん、または自家製餃子/チョコレート/刺身2名/ラーメン/魚/焼き肉 2名/エンチラーダ、おでん/カレー/すき家の鮭定食/うどんと天ぷら/春巻き、生煎包、二面黄炒面/中華料理/中ネギトロ丼



## すべては、明日の自分のために

ソン デン ウ  
桑 傅宇

2017年の7月に中国から日本に来ました。小学校は夏休みだったので、2か月間遊びました。その後二学期が始まったので、9月に初めて日本の小学校に行きました。その時は少し緊張しました。

日本に来る前は、日本語の勉強をしたことが全くなかったです。初日は色々な事が分からなかったもので、学校の先生や友達が優しく教えてくれました。学校に通うようになって、やはり日本語が分からない事は大问题になると気づきました。友達と何も話せないし、勉強も全く理解できません。こんな生活を一週間続けている時に、先生から親に連絡が来て国際交流センター(FICEC)のことを知りました。そしてFICECで勉強することになりました。

最初にセンターへ行った日は家族と一緒にでした。色々な話しをしました。先生達にも会いました。早く友達とおしゃべりして、一緒に遊びたいと思い、週4回FICECで勉強することに決めました。その努力のおかげか、小学校6年生の時の修学旅行は、日光に行ったのですが、楽しかった思い出があります。

中学校に入学してからの一年間は、ずっと一人ぼっちでした。友達は作れないし、時々クラスの人達からの僕への悪口も聞こえてきました。苦しかったけれど、今は我慢しかないと思いました。そして早く日本語が喋れるようになりたいと思い、孤独感と一緒に一年間頑張りました。だからその頃は、毎週火曜日と土曜日に、FICECで日本語の勉強をすることが楽しみでした。

中学2年生の頃から、日本語が少しずつ分かって来ました。それで頑張って友達を作りました。2年生の一年間はとても楽しかったです。でもクラスの人からの悪口は止まらなかったです。いつもは無視しているのだけれど、我慢できず途中で何回かけんかをしました。中2の後半ではコロナウィルスの為、半年間学校を休みました。その時は、



山畑先生と江先生がわざわざセンターで勉強を教えてくださいました。

日本に来てからももう5年半が経ちました。いつも学校生活で困ったことがある時は、FICECの先生達に相談しています。FICECで学ぶことは外国人にとってとても良い選択だと思います。

今は高校3年生です。高校はとても楽しく、友達も一杯できました。充実した毎日を送っています。将来の夢はたくさんありすぎて一つに決められません。だから、今はアルバイトをしてお金を貯めています。進路が決まったら、自分の夢をかなえるために使いたいです。





## スタッフ(新理事)紹介 役割を果たしていきたい

塚本 秀樹

昨年(2022年)の11月に開催された第25回通常総会にて理事を拝命いたしました。1997年のセンター開設以来、昨年で25周年という歴史の重みと、地域の外国籍の方々への自立支援、多文化共生をミッションとしたセンターの活動範囲の広さに敬意を表するとともに、大役を仰せつかり身の引き締まる思いです。

サラリーマン生活の後、何ができるかと考えてみたものの、自分の住む地域の人や環境などに関係してこなかったため、全く景色が見えず、無力であることを痛感していたところ、在日外国人への自立支援という地域活動に共感を覚え、3年ほど前にお手伝いをさせていただくようになりました。

当初は仕事で培った経験を生かした活動ができればなどと思っておりましたが、日本に滞在するた

めの必要なお手伝いや生活する上での自立支援など、諸先輩の多岐にわたる活動に遠く及ばないことを思い知りました。いまだに未熟なままではありますが、外国籍の方々へ日本語を教えることを中心に、今後「なにができるか」、を考えながら役割を果たしていきたいと思っております。昨年はウィズコロナで制限されていた活動も、ワクチン接種が進むとともに人の移動や活動の制限も緩和の兆しが見えてきました。

人と人が国を超えて交流し、同じ経験を共有できるセンターのプラットフォームがより活性化できる一助となるよう尽力していく所存ですので、みなさまのご指導、ご支援を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

## 「日本語ボランティア養成講座」報告

矢澤 美紀

1月22日・29日・2月5日の3日間、上福岡西公民館からの依頼で【日本語ボランティア養成講座】を開催し、各回約20名の参加がありました。

講座では始めに「日本語教室の特徴」「日本語ボランティアの心構え」「文字と発音」などの基本的な知識について話しました。その中で、「ん」の発音は何種類あるのか、1日に何文字覚えられるのか、生活に必要な漢字は何か等〈外国語としての日本語〉を意識し、考えてもらう時間を作りました。

その後は「知っておくと便利な日本語文法」とい

うことで、「い形容詞」「な形容詞」「動詞のグループ分け」「て形」を教えました。これらの文法の講座では、日本人向けの説明ではなく、実際に外国人に教える方法で講義を行い、受講生には日本語の学習者として体験してもらいました。

コロナの感染予防のためにグループワークが出来ずに残念でしたが、「講座に来るのが楽しみでした」「日本語ボランティアをすぐにやってみたいです」などの感想をいただきました。



講座の流れ

第1回	日本語教室と日本語ボランティアの役割 初級日本語の教え方
第2回	文字と発音 日本語ゼロの学習者への対処 日本語文法とは
第3回	知っておくと便利な日本語文法

## 日本語教室の イベント紹介

今年になって日本語教室で開催したイベント2つを紹介します。最近コロナも落ち着いて来て、人を集めたり、食べ物等を提供することが可能になってきたので、これから時々日本文化を紹介しながら、参加した人たちが一緒に楽しめるようなイベントを開催したいと思っています。

1月に「書き初め」を月曜日と木曜日の2回に分けて開催しました。はじめに、書き初めの意味を説明し、皆に今年目標や好きな字を書いてもらいました。気に入るまで何枚も書く人、自分が書く様子を動画撮影してもらう人など、楽しんでもらえました。

書き初め



お茶会

~Tea party~



3月は、お茶会をしました。茶道経験者のお二人に「お茶をたてる」「お茶を飲む」の動作の見本を示してもらい、その後自分でお茶をたてて飲んでいただきました。

## 自分は人が困っているのを放っておけないんです。

岩岡印刷工業株式会社勤務 ウィン ナイン さん

出身はミャンマーです。昔から外国に行きたいと思っていて、最初はシンガポールで英語の学校に行きながら働いていました。その後1年間仕事で船に乗り世界を回りました。日本には1996年に来ました。給料がいいと聞いていたから。最初は築地にある日本料理店で、洗い場の仕事に就きました。

自分は人が困っているのを放っておけないので、洗い場がない時は、他の人を手伝って、パントリーのヘルプや、ホールの女性の代わりに重い皿を運んだりしました。その働きぶりが認められ、3ヶ月でパントリーの仕事をまかされ、給料も上がりました。パントリーは調理場にオーダーを通したり、定食のセットをしたりする仕事です。ミャンマーで中国語を勉強していて、漢字は少しわかっていたので、料理の名前を紙に書いてポケットに入れ、それを見ながら仕事していました。奥さんとはそこで知り合い99年に結婚しました。2002年には1人娘が生まれました。今は管理栄養士をしている自慢の娘です。

私は日本に来た時は「こんにちは」しか知らず、本当に日本語の勉強を始めたのは去年日本語教室に通いだしてからです。日本に帰化したいと思っていますのですが、奥さんは結婚する時の書類等でとても苦労したので、「しなくてもいいんじゃない？」と言っています。

その後、支配人に別の支店に誘われて、彼の下でアシスタントマネジャーになり、パントリーに加えてお酒の注文も任されるようになりました。私はよく気がつき、仕事も早いので大事にされたみたい。

支配人は自分のお父さんのようでした。親戚を紹介してくれたり、自分の家に呼んだり、よくしてくれました。最初の頃に、店を早じまいする時支配人に「もう仕事終わっていいよ」と言われたけれど、私は彼の目の前でタイムカードを押して洗い物を片付けた。時間外だけど仕事はきちんと今日中に終わらせたかったから。そういうことが何度かあり、気にいられたようでした。その後転職し、家も遠く



なったので簡単に訪ねたりできなくなりましたが。

今は、印刷会社で働いています。奥さんが見つけて来て。金曜日に面接に行き、月曜日にはそこで働き始めました。お店と印刷工場では、使う言葉が違うのでまた一から覚えなければなりませんでした。例えば、お店では品物が売り切れた時に「無くなりました」とは言わず「山です」と言い、印刷工場では、試し刷りした紙の事を「ヤレ」と呼ぶとか。最初は「殺れ」かと思いました。(笑)

職場で言えば、上司は仕事中は厳しいのに、仕事が終わった後は友だちのようにふるまう。日本ではそれ当たり前かもしれないけど、自分はその差がちょっと苦手です。料理店で働いていた時も、私が作ったまかないには「これ味薄いよ」と言われるけど、板前見習いの人たちが作ったものには一切何も言わない。なぜ？「味が薄いよ」と教えてあげればいいのに。

ミャンマーでは子どもが椅子によじのぼろうとしたら、のぼる前に止めるけれど、日本人は子どもが落ちて一度痛い目に合わないと自分でわからないと思っています。見習いの人たちに何も言わないことと、子どもに手出しをしないことは似ていると思う。今でもそこはよく理解できないんです。(インタビュアー 小林暁美)

ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

## マンスリーサポーター募集中!!

在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみならず、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただくことでFICECの事業を継続して行くことができます。

### ◎マンスリーサポートの流れ

- ①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。  
住所 〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-2 5  
ふじみの国際交流センター マンスリーサポート係  
電話 049-256-4290 または 049-269-6450 FAX 049-256-4291
- ②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。
- ③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。
- ④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。



### ◎スポットサポーター募集(不定期、または一回のみのサポート)

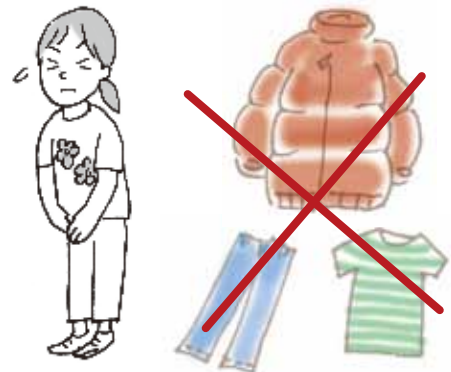
郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、  
口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)  
または、現金書留でお願いいたします。



おねがい

### 日頃から

FICECにご支援いただきありがとうございます。  
誠に勝手ながら、衣類のご寄付につきましては  
利用がないためお断りしております。  
ご理解のほど、どうぞよろしく申し上げます。



○お店の広告を出しませんか? 詳しくはFICECまでお問い合わせください。

FICECの活動をご支援ください  
**会員・賛助会員・寄付のご案内**

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

郵便振替口座: 00110-0-369511  
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

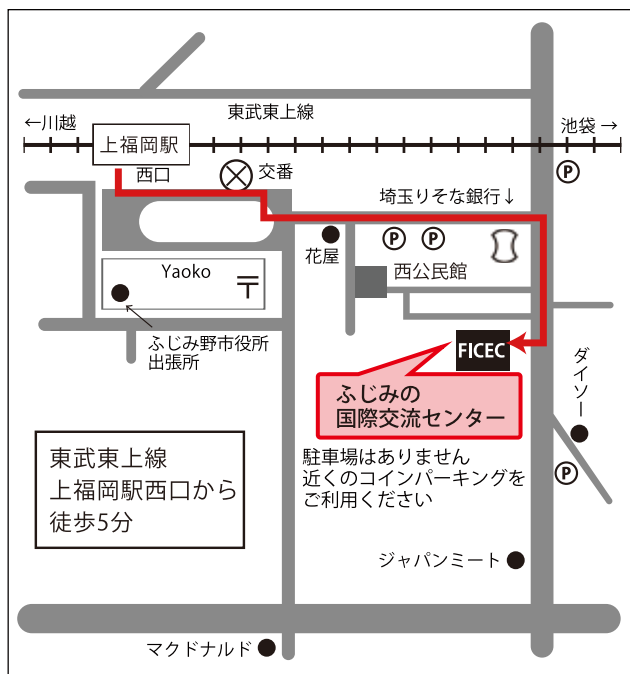
**外国人生活相談 無料**

月曜日～金曜日 10:00～16:00

電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら  
 FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人  
**ふじみの国際交流センター**

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25  
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291  
 生活相談専用電話 049-269-6450

**ご寄付をいただいた方々**  
 ご支援ありがとうございます

●2022年4月1日～2023年4月15日(敬称略)

(公)社会貢献支援財団、浅葉幸作、穴沢エミリン、新井順子、安銀柱、安昌美、伊藤愛、牛込亜紀子、大野渉、小熊千寿子、大室昭浩、柏木ひろみ、片倉ミン、鎌田かよ子、川本泰正、神田順子、北林ジャネット、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、久保田正幸、熊谷洋興、栗田順子、コック、木場ひろみ、小林暁美、小林和恵、小林洋輔、酒井有香、坂口久身江、佐藤義治、サラナンヨサポール、ジェット、塩野圭子、島崎達朗、島原亜理、清水昭彦、ジャパンミート1%還元、江科、進洗子、新川八重子、スニル、芹澤英樹、ゾシスザン、田上佳代、チンテイヴァン、塚原延枝、塚本英樹、寺村璧如、トアテイスニル、戸塚成子、永田信雄、沼田伊久俊、長谷川正江、深沼マリ、松尾里美、松本好正、茂木久美子、森田有美子、矢澤美紀、山中綾子、山畑博子、山本健一、吉井ジュリエッタ、吉沢悦子、吉永一男、吉松楓乃

〈マンスリーサポーター〉

遠藤慧子、太田政男、勝沼深、窪田和揮、小林久美、権田貴久子、佐藤直志、末吉智子、中嶋恵津子、仲野京子、仲野公堅、野田恭三、藤井みどり、八重樫紀久枝、吉田憲郎、吉野高章

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

＝ ふじみの国際交流センターサービス案内 ＝

外国人 ゲスト派遣	国際理解教育	3,000円+交通費+事務費
	外国料理教室	5,000円(材料費別途)
講師派遣	多文化共生講座	20,000円+交通費 (活動運営のためご協力ください)
	ボランティア講座	
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書	A4 3,000円/ページ
	その他文書	A4 3,000円/ページ
通訳	半日5,000円+交通費	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日